

事業番号	09 04 12	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州伝統野菜認定・支援事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業		E-mail	<a href="mailto:enchiku@pref.nagano.lg.jp">enchiku@pref.nagano.lg.jp</a>		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H19 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

## 1 事業の概要

目指す姿	風土や歴史を大切にしたい伝統野菜の安定的な生産を推進し、地域の人に育まれてきた味覚や食文化を多くの人に提供・発信することで、伝統野菜の継承と地域振興及び中山間地域の農地保全を図る。															
現状(予算編成時)	<p>○平成27年10月末現在の選定数は75種類、認定数は44種類、加工品承認数は38品。種類数は年々増加傾向にあり、伝統野菜の県内認知度の向上とともに、認定制度への関心が高まっている。</p> <p>○選定されたばかりの伝統野菜は、栽培者数が少ないため、種が途絶える危険性がある。グループの認定制度により、栽培者数の増加を図り、種の保存を進める必要がある。</p> <p>○伝統野菜には、形質のバラツキが大きい品種もあるため、採種技術の向上や共同採種による形質の安定化が必要である。</p> <p>○実需者からの需要に対応できる供給体制が求められており、生産拡大や消費拡大を目指していくための人材育成が必要である。</p>															
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】					県民共有の財産である伝統野菜を核とした中山間地域の農地の利活用を推進するため、専門家による委員会で審査し、知事が認定する事業。信州伝統野菜認定事業実施要綱									
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)															
	認定野菜のうち、栽培面積が増加もしくは現状維持のもの 33種類以上(認定野菜の75%以上、現状の実績を確保するために設定)															
	② 事業内容 (単位:千円)															
		項目	実施方法	H28事業実績		H28		H29								
					(当初)	(決算)	(当初)									
	1. 種の継承対策	直接	・認定委員会の開催(3回)・現地審査の実施(1回) ・採種指導会の実施(1回)	385	307		355									
	2. 生産グループの育成対策	直接	・産地情報交換会の開催(1回)	84	61		96									
	3. 需要の拡大対策	直接	・農林水産省消費者の部屋での展示(1回) ・信州の伝統野菜セミナーの開催(1回)	320	242		155									
	4. 食文化の継承対策	直接	・県調理師会料理コンクールでの展示(1回)	55	12		40									
			合計	844	622		646									
事業	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況										
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標				
		当初予算	645	844	646				目標	成果	達成状況					
		補正予算							認定野菜の栽培面積増加もしくは現状維持のもの	32種類	33種類		33種類	40種類	達成	34種類
		合計(A)	645	844	646											
	コスト	一般財源	27	26	83											
		県債														
		国庫支出金														
		その他	618	818	563											
	ト	決算額(B)	515	622												
概算人件費	職員数(人)	0.20	0.2	0.15												
	概算人件費(C)	1,655	1,583	1,187												
	概算事業費(B(A)+C)	2,170	2,205	1,833												
目標に対する成果の状況	新規品目が1品目選定、伝承地栽培が1品目認定され、採種指導会や産地情報交換会等の開催により栽培技術が向上し、生産者の栽培意欲が向上した。料理コンクールや伝統野菜セミナーの開催により、野菜と制度の周知が進み、実需者からの利用要望が増加している。															

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	採種技術の向上を図るとともに、伝統野菜の安定的な生産を推進し、伝統野菜の継承と地域振興及び中山間地の農地保全を図る。伝統野菜セミナーや展示会などを開催するとともに、ラジオ等メディアを効果的に活用して県内外にPRを図る。